

キッズゲルニカは地球全体をキャンバスにして 平和の精神を表現し、人々をつなげていくアート

キッズゲルニカはピカソの『ゲルニカ』と同じ大きさのキャンバス(3.5m×7.8m)に子どもたちが平和の絵を描くという国際的なアートプロジェクトです。パブロ・ピカソは1937年、スペイン市民戦争のときに起きた爆撃の残虐さに抗議して、『ゲルニカ』の作品を制作しました。『ゲルニカ』はキャンバスの上に描かれているので、パリからロンドン、ニューヨーク、そしてマドリッドへと運ぶことが可能になりました。

キッズゲルニカの平和壁画も持ち運び可能なキャンバスに描かれています。壁画は通常壁に描かれますが、壁というものには「隔たり」の意味があります。この移動可能な壁画というものは「隔たり」をとりのぞくことを象徴しています。世界の平和というものは、国家・人種・宗教・文化そして人々間の「隔たり」をなくすところから始まります。

キッズゲルニカは地球全体をキャンバスにして平和の精神を表現し、人々をつなげていくアートです。すでに50数ヶ国で350点以上の平和の絵が制作されています。地球儀の上でそれぞれのワークショップの場所をつないでいくと、すばらしい絵が生まれます。

キワニスクラブとは

キワニスクラブは、1915年1月21日米国デトロイト市で生まれた民間団体で、ロータリークラブとライオンズクラブに並ぶ、世界三大社会奉仕団体のひとつです。キワニスとは、デトロイト周辺に住んでいたアメリカ原住民の言葉“Nun-Ke e-Wan-is”(みんな一緒に集まる)に由来します。

2022年12月現在、その本部は、米国インディアナポリスにおかれ、世界の80か国、約8000のクラブ、23万人が国際キワニスを構成し、国内には41クラブに会員約2000名が所属しています。1990年からは、特に幼い子どものための奉仕活動に力を入れています。

国際キワニスの 目的

- ◎ものより心を重んじよう
- ◎自分がされて嬉しいことを、他人にもしよう
- ◎決まりを守り、社会に尽くそう
- ◎友情をつちかい、力を合わせて、活動を進めよう

主な奉仕活動

- ◎キワニスドールの贈呈
- ◎児童虐待防止
- ◎災害支援
- ◎エリミネイト・プロジェクト
(妊産婦・新生児破傷風プロジェクト)など

歴史

1995

アート・ジャパン・ネットワークにより終戦後50年にあたる年にキッズゲルニカプロジェクトが開始される。最初のワークショップをフロリダのタラハシ市で開催。

2000

ネパールのカトマンドゥにおいてキッズゲルニカ国際展覧会。アート・ジャパン・ネットワークによる第一段階を経て、キッズゲルニカ国際委員会が設立され運営にあたる。

2001

京都においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2001-2002

イタリアのクロンプラッツにおいてキッズゲルニカ国際展覧会。

2003

フランスのオラドゥールにおいてキッズゲルニカ国際展覧会。

2003

オーストリアのフォーラルベルグにおいてキッズゲルニカ国際展覧会。

2003

東京においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2005

インドネシアのバリ島において10周年記念キッズゲルニカ国際展覧会。

2006

ギリシアのクレタ島において「詩人とキッズゲルニカ」を開催。

2006

インドネシアのバリ島においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2007

ギリシアのキオス島においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2007

大阪においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2007

ギリシアのアテネにおいてキッズゲルニカ国際展覧会。

2010

米国のフロリダ州立大学においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2010

インドネシアのバリ島においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2012

スペインのゲルニカ市においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2015

広島においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2015

インドネシアのバリ島においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2016

広島においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2017

イタリアのピエツラにおいてキッズゲルニカ国際展覧会。

2017

広島においてキッズゲルニカ国際展覧会。

2018

フランスのバリにおいてキッズゲルニカ国際展覧会。

2018

京都においてキッズゲルニカ京都プロジェクト『街ミュージアム』。

2018

イタリアのカラブリアにおいてキッズゲルニカ国際展覧会。

2018

キューバのハバナにおいてキッズゲルニカ国際展覧会。

2019

イタリアのカラブリアにおいてキッズゲルニカ国際展覧会。

2020

イタリアのカラブリアにおいてキッズゲルニカ国際展覧会。

2020

スペインのゲルニカ市より「平和と和解」の賞を受賞。